

ゆずり葉

第101号

令和6年1月22日

■発行：青少年育成本太小地区会 ■発行者：積田鉄也

■事務局：浦和区本太2-26-25
さいたま市立本太小学校内 TEL 882-3007



常にマスク越しの活動だった3年間の悔しい。

状態で、当面の体制を整えたい。急な報告も、今後申し上げます。

故永嶋会長を偲んで

早いもので一年が過ぎようとしています。ようやくコロナ禍も収束し、かつてのようにのびのび行事もできるのではないかと。そんな明るい兆しを感じ始めた令和五年一月、届いたのは突然の悲報でした。令和二年度より育成会の会長に就いていた、永嶋充浩氏が虚血性心不全で急逝されました。

会長を引き継いだのが、ちょうど新型コロナウイルスの感染拡大時期だったため、総会も書面審議、行事もほぼ中止で、地域の方にご紹介できる機会が無いままになってしまいました。これから本格的に活動を再開し、やつと子どもたちにも地域の方にも顔を覚えていただくと楽しみにしていた矢先のことでした。

まだ五十九歳と若く、今後の活躍を期待されていただけに、私達も非常に悲しく残念な気持ちでいっぱいです。謹んでご冥福をお祈りいたします。

重責を引き継いで



青少年育成本太小地区会

会長 積田鉄也

前会長の後を引き継ぎ、令和五年度に会長として就任いたしました積田鉄也と申します。よろしくお願ひ致します。

私は以前木崎小学校のPTA会長を務めておりましたので、本太小学区の皆様にはあまりご挨拶申し上げる機会がありませんでした。私の経営する会社が以前元町にあったご縁で金子名誉顧問よりお声をかけていただき、平成二十八年より地区会の副会長を仰せつかってきました。今回、あまりに急なことでありましたが、とにかく体制を整えなければならず、故永嶋会長の遺志を継ぐべく、後任を承りました。

ただ、近年、会社が緑区に移転したため地域とのご縁が少々遠くなり、また業務多忙でなかなか育成会の活動への関わりが難しくなっていることに忸怩たる想いも抱いております。しかしながら、いずれ後進により形でバトンを渡していけるよう、今はできることに最善を尽くして参りたいと存じます。

さて、猛威を振るったコロナウイルス感染症が五類に転じ、感染には充分注意しながらも今年度より以前のような活発な活動が行えるようになりまして。四年間対面での会議等も行えず皆様には大変ご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

これからも皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和五年度事業計画

- ・定期総会・歓送迎会
- ・合同常任委員会
- ・常任委員会
- ・協力団体助成
- ・（ぶんぶん文庫・スポーツ少年団五団体
ボーイスカウト・ガールスカウト）
- ・本太スクールサポーターネットワーク、
本太セーフティネットワーク参加
- ・小学校体育館AEDリリース負担
- ・ミュージカル観劇会
- ・夏季青少年健全育成巡回活動
- ・浦和祭り巡回活動
- ・公民館文化祭協力
- ・（ふれあい広場担当）
- ・東部地区社協グラウンドゴルフ大会参加
- ・子ども会対抗ドッジボール大会
- ・研修会（千葉校長先生講演会）
- ・十二日まち巡回活動
- ・新年懇親会
- ・家庭教育学級参加
- ・卒業生、新入生にお祝い品贈呈
- ・青少年育成巡回活動
- ・（補導委員会・毎月第三金曜日）
- ・広報「ゆずり葉」一〇一号発行
- ・青少年育成さいたま市民会議参加・協力
（運営・補導・広報委員会）
- ・青少年育成浦和区民会議参加・協力
- ・関係団体事業に参加・協力



グラウンドゴルフは本部4人が参加



文化祭の休憩所でお茶の準備を調えます

研修会

十月十四日・本太公民館講座室

講演「教育は愛」

「地域の子みんなの愛で育てよう」

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに活動内容を改めて検討し、令和三年度より、研修旅行を研修会に切り替えることにいたしました。三回目となる今回は、本太小学校の千葉裕校長先生に講演をお願いしました。

ご自身の生い立ち、女手一つで二人の子息を育てた明るく逞しいご母堂、教職の道を選ぶきっかけとなった小学校の恩師、特別支援学校での経験などを伺い、先生の朗らかで豊かな人間性はこのような源泉から生まれたのだと、大変感銘を受けました。

また、尊敬する長嶋茂雄氏との交流のエピソードや、ご家族、学校の日常の様子を交えながら、「教育は愛」の信念、子どもたちに向ける温かい眼差しに、まさしく溢れんばかりの愛を感じ、胸が熱くなりました。更には、地域へも同様に注いでくださる情熱に、私達もそれに応えなければと想いを新たにしました。



「まずは自分を愛して！」先生の言葉に、四十九名の参加者は大きく頷きました

「教育は愛」皆様と手を携えて



本太小学校
校長

千葉 裕

日頃より青少年育成本太小地区会（以下「育成会」）の皆様には、本校の子どもたちに深い愛情を注いでいただき心より感謝申し上げます。私は、育成会のスローガン「地域の子 みんなの愛で育てよう」が大好きです！「教育は愛」という私の教育信条とピッタリ重なるからです。

今年度は、ポストコロナ禍の取組が最大の課題です。学校でも、今まで封印していた集団で行う教育活動のボールを一枚ずつ脱ぎ捨てています。その中で、六月に実施していただいた育成会主催のミュージカルは、ポストコロナ禍の取組を加速させる大きな節目となりました。その後、学校でも班で喫食する給食、全校児童で歌声を響かせる音楽朝会、そして、十月には四年振りとなる運動会、十一月の校内音楽会など、みんなが集い、心を合わせることに素晴らしさを実感してまいりました。また、寒空の下実施された育成会主催の「子ども会対抗ドッジボール大会」は寒さを吹き飛ばす熱い思い出となりました。

「愛」とは一途に相手を思いやり、見返りを求めることのない深い優しさです。私は育成会、保護者、地域の皆様と一枚岩となり、かけがえのない本太小学校の子どもたちへ愛を注ぎ、本太小学校の教育活動を力強く推進してまいります。今後ともご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ミュージカル観劇会 六月十七日(土)

「ミュージカル劇団GADSMITHがおくる
おはなしと歌とダンスのスペシャルパフォーマンス」

ミュージカル劇団「GADSMITH(ガッドスミス)」をお招きして、体育館で観劇会を開催しました。

作中曲を作曲される中野渡千代子さんが長年育成会の本部役員だったことから実現した行事です。参加児童は一七九名。他に来賓・保護者・未就学児五十二名も一緒に鑑賞しました。育成会の他、先生方、子ども会など、お手伝いのスタッフも六十名に及び、久しぶりの大規模イベントとなりました。

劇団四季出身の演者が多く、本格的なパフォーマンスに魅了されました。プログラムはダンスと、朗読、プチミュージカル、歌は小学校で歌う馴染みの曲からカンツォーネ、オペラ曲、アニメソングまで幅広く、一緒に歌うコーナーでは、会場が一体となって盛り上がりました。



最後に子どもたちから
出演のみなさんに花束
をプレゼントしました。

子ども会対抗ドッジボール大会

十一月十一日(土)

新型コロナウイルス感染防止のために中止を余儀なくされてきたドッジボール大会が四年ぶりに帰ってきました。高学年でも記憶は遠く、ましてや低学年にとっては未知の行事です。果たして参加者が集まるか、緊張しながらの募集でしたが、いざ蓋を開ければ四五十名の申し込みという嬉しい結果でした。インフルエンザや風邪の流行で当日欠席も多くなりましたが、それでも四百五名、四十三チームの盛大な大会となりました。



数日前まで夏日だったのに…強風と寒さ。それでも子どもたちは元気いっぱい!

ご協力に感謝!先生方、ピクチャーズ、サッカー少年団、PTAソフトボールの皆さん、保護者の方々、そして42名の中学生にサポートしていただきました。

激闘を勝ち抜いて
栄光を掴んだチームは…

高学年男子	低学年混合	高学年女子
<p>優勝 駒場・領家B</p>	<p>優勝 本3コアラ</p>	<p>優勝 駒場・領家</p>
<p>準優勝 元町2丁目A</p>	<p>準優勝 本5ミッキー</p>	<p>準優勝 本太2丁目</p>

令和五年度定期総会

六月三日（土）本太公民館において、令和五年度の定期総会を開催しました。

今年度は四年ぶりに対面で行うことが出来ました。本太四丁目加藤晴明町会長に議長をお願いし、令和四年度事業報告・決算報告・監査報告、令和五年度事業計画・予算案について審議が行われ、全ての議案が承認されました。

また、会則第四条及び第十一条について改定の提案を行い承認されました。

第四条は会員を定義していますが、「本太小地区内に居住する人」となっていた規定について、かねてより学区内自治会より質問をいただいていた。総数の把握が出来ず、また議決の際に不都合が生じるというご意見を重く受け止め、「居住する人」を「居住する世帯」に改めるものです。

第十一条は収入の規定で「会費・自治会及び市の助成金その他をあてる」となっていました。会費とは主に、学校（児童・教職員）に毎年入会を募集し、申し込み時に三百円を集金してきたものをいいます。今後は入会申し込みと会費集金を廃止し、会則から会費の文言を削除することを提案しました。

現在学校では現金を扱わない方針になっており、他の集金方法も検討しましたが、児童から会費を受け取る現実的な方法がないこと、他の地区会では児童から会費を取っていないこと、申し込みがない家庭の児童にも育成会の事業は等しく提供されるべきであること、等を考え合わせ、廃止の結論に至りました。これにより、収入は今までより二十万円ほど減少しますが、用途を精査し、できる限り今までと変わらない活動内容を維持できるよう工夫していきたいと思っております。

令和5年度予算

収入の部		支出の部	
	単位 円		単位 円
自治会助成金	555,300	運営費	335,000
さいたま市助成金	200,300	助成行事費	
東部地区社協助成	20,000	ぶんぶん文庫	30,000
本太公民館振興費	10,000	地域団体	70,000
雑収入	1,000	地域行事	300,000
繰越金	818,747	活動費	270,000
合計	1,605,347	予備費	600,347
		合計	1,605,347



永嶋会長死去に伴い、積田副会長が会長代行として五ヶ月間活動してきましたが、総会で承認され、正式に会長に就任しました。任期途中の交代となりますが、変わらぬご支援をお願いいたします。

歓送迎会



総会に引き続き歓送迎会開催。

今年退任の方々に加え、令和2年退任の方々にも花束を贈呈しました。総会の書面開催が続き、遅くなりましたが、やっと感謝の意を伝えることが出来ました。

◆ 功労者表彰

令和五年二月二十五日

さいたま市産業文化センターで開催された、第二十一回さいたま市青少年育成推進大会において

小山 美智子さん（二十年功労）

道祖土久美子さん（十年功労）

太田 康予さん（五年功労）

福島 牧子さん（五年功労）

本太フレンズバドミントンスポーツ少年団（団体区分）が表彰されました。

◆ 夏期青少年健全育成巡回活動

七月二十四日～八月二十八日まで、恒例の夏期青少年健全育成巡回活動を実施しました。

育成会委員、子ども会、小学校安全委員会、本太中学校校外指導委員会の参加で、延べ二十六日、九十四名で実施したことを市に報告しました。